

日本専門看護師協議会

急性・重症患者看護分野事例検討会

私たちは、未だに収束がみえないコロナ禍という未曾有の災禍を経験してきました。この感染流行の数年間、ソーシャルディスタンスが求められる中、私たちは「医療とはどうあるべきなのか」「看護が大切にすることは何か」を再考させられたのではないかと思います。

医療体制の在りようが問われ、かつ限られた環境・資源の中で、私たち専門看護師（CNS）は、高度実践看護師（APN）として、いかに対象を守り組織・社会に影響力を与えることができたのでしょうか。そしてこれからの未来、私たちCNSはどのような実践活動をしていくことが求められるのでしょうか。

そこで、今回の事例検討会では、急性・重症患者看護専門看護師が行う「Direct Clinical Practice」*に照準をあて、3名の方にコロナ禍での経験事例を含み、現在までに行なってきている実践活動報告を頂きながら、これからの臨床における「急性・重症患者看護専門看護師の実践」について検討したい考えました。

*Hamric's model of advanced practice nursingにおけるcentral competency

- 日時：2022年9月11日 13時～16時
- 方法：オンライン開催（ZOOM）・シンポジウム形式
- 対象：日本専門看護師協議会 正会員・賛助会員（無料）
- 申し込み方法：9月9日締切（定員80名）

左記QRコードもしくは以下URLよりお申し込みください。

<https://forms.gle/BwaFFjS7VEyAJTGe6>

（注）9月に入りましたらZOOM URLをご登録E-mailにお送りします。

お問い合わせ先（担当：齋藤）d.daisukesaito@gmail.com



タイムスケジュール

①オープニング（13：00～13：10）

ご挨拶・オリエンテーション

企画担当 井野・齋藤

②話題提供（13：10～13：30）

これから本邦で求められるAPN・CNS像（仮）

スペシャル・ゲスト 山口大学大学院 教授 **山勢博彰** 先生

（一般社団法人日本看護系大学協議会 APNグランドデザイン委員会委員長）

③シンポジウム前半（13：35～14：35）

シンポジスト① 地域における実践活動

訪問看護リハビリテーションたもつ **堀 友紀子** さん

シンポジスト② RRT/RST/周麻酔期における実践活動

東邦大学医療センター大森病院 **山田亨** さん

シンポジスト③ 心臓外科看護外来における実践活動

聖路加国際病院 **中島 千春** さん

～休憩（10分前後）～

④シンポジウム後半（14：45～15：45）

全体ディスカッション（進行 井野・齋藤）

コメンテーター **山勢博彰** 先生

皆様からの活発なご意見・ご質問もお待ちしております！

⑤クロージング（15：45～16：00）

閉会のご挨拶・Webアンケート記入・修了証発行